

# 川崎市における都市間連携の取組について ～多様な主体との連携を通じたグリーンイノベーションの推進～



川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

川崎市

# 川崎市の概要(1)

●面積：144.35平方キロメートル

●人口：1,539,522人  
(令和2年9月1日現在)

●世帯数：750,949世帯  
(令和2年9月1日現在)

●市内総生産：6兆1,584億円  
(平成28年度、名目)

●令和2年度当初予算

一般会計

7,924億6,332万円

特別会計(13会計)

4,859億 61万円

企業会計(5会計)

2,069億1,895万円

**(合計) 1兆4,852億8,287万円**

◎「先端産業・研究開発」のまち・・・400を超える研究開発機関が立地

◎「芸術・文化」のあふれるまち・・・ミューザ川崎シンフォニーホール、昭和音楽大学

◎「スポーツ」のまち・・・川崎フロンターレ、川崎ブレイブサンダース

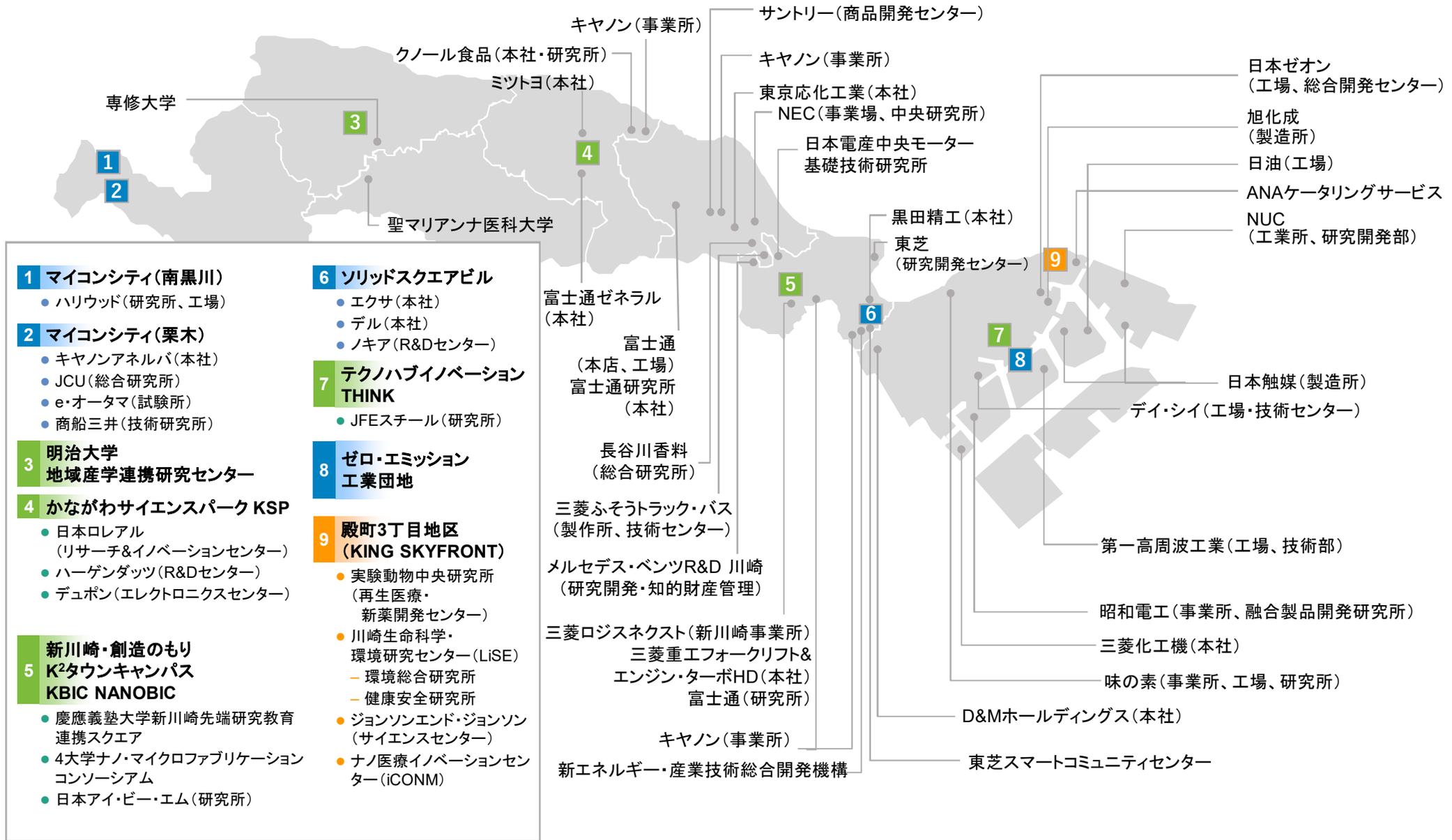
◎「自然」が豊かなまち・・・多摩川、生田緑地



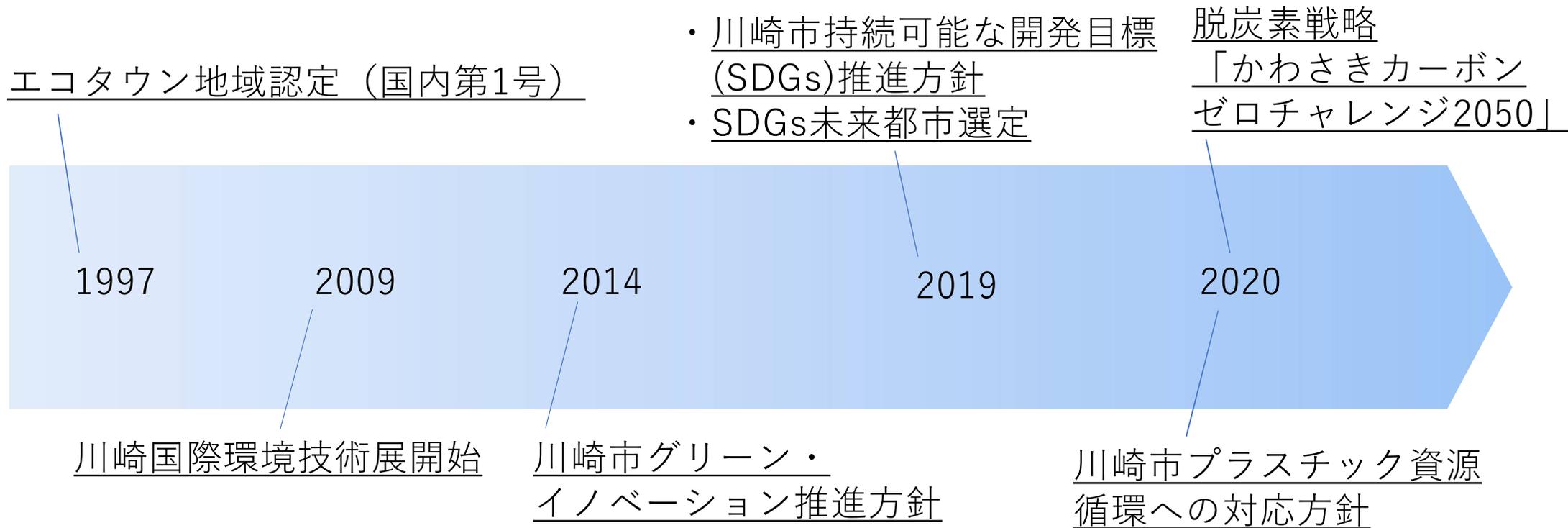
# 川崎市の概要(2)

◎研究開発機関数：約400か所

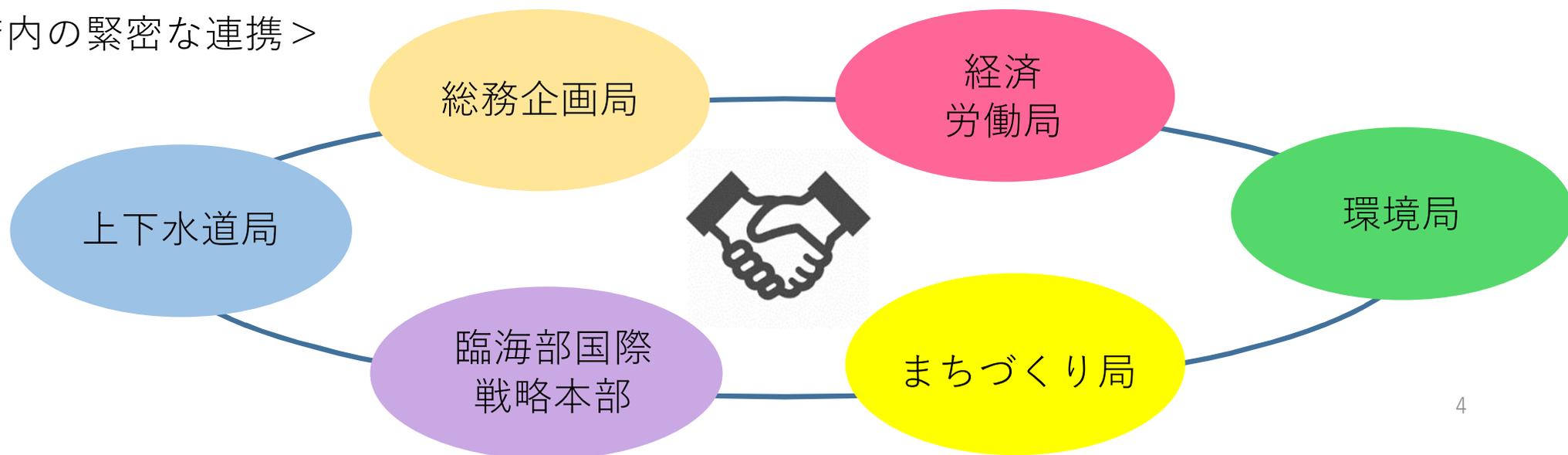
※ 川崎市イノベーション状況  
基礎調査速報(平成29年)



# 川崎市におけるGIに関係する方針・戦略等(1)



< 庁内の緊密な連携 >



# 川崎市におけるGIに関係する方針・戦略等(2)

## 川崎市グリーン・イノベーション

川崎市の強みである環境技術・環境産業を活かして経済・社会のグリーン化を推進する

## 川崎市グリーン・イノベーション推進方針（2014年策定）

### 本市の強みと特徴

- 1 環境技術・産業の集積
- 2 環境意識の高い事業者・市民
- 3 これまでの「環境」と「経済」の調和と好循環の取組

### 基本的な考え方

「環境技術・環境産業を活かしたサステナブル・シティの創造」

### グリーンイノベーション推進に向けた4つの柱

- 1 環境技術・環境産業の振興
- 2 優れた技術を活かす環境配慮の仕組みづくり
- 3 多様な主体の協働による環境技術を活かしたまちづくり
- 4 環境技術を活かした国際貢献の推進

# 川崎市におけるGIに関係する方針・戦略等(3)

## 川崎市持続可能な開発目標 (SDGs) 推進方針

### 川崎市総合計画

#### めざす都市像

成長と成熟の調和による  
持続可能な<sup>さいこう</sup>最幸のまち  
かわさき

#### まちづくりの 基本目標

- 安心のふるさとづくり
- 力強い産業都市づくり

### SDGs (持続可能な開発目標) とは

平成27年に国連において、先進国と発展途上国が共に取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として、持続可能な開発のための2030アジェンダが採択。この中に、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17の目標としてSDGsが掲げられた。



川崎市総合計画のめざす都市像とSDGsは  
同様の方向性

## 川崎市持続可能な開発目標 (SDGs) 推進方針 平成31年2月策定

#### 基本的な考え方

- 総合計画を推進することを基本に、全庁をあげてSDGs達成に寄与する取組を推進する。
- 持続可能なまちづくりや誰一人取り残さないことなどを強く意識した取組を進めるとともに、多様なステークホルダーと連携し、経済・社会・環境の三側面の調和や統合的な向上を目指す。

# 川崎市におけるGIに関係する方針・戦略等(4)

## 脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ 2050」

2050年CO<sub>2</sub>**100%削減**に向けた**2030年マイルストーン**や、**基本的な考え方・先導的な取組**などを掲載し、従前の川崎市地球温暖化対策推進基本計画に上乗せ

### 第Ⅰの取組の柱

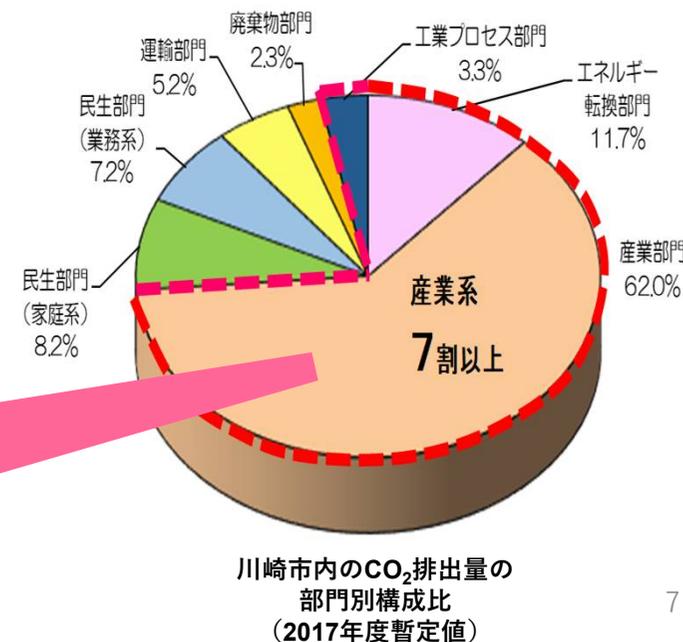
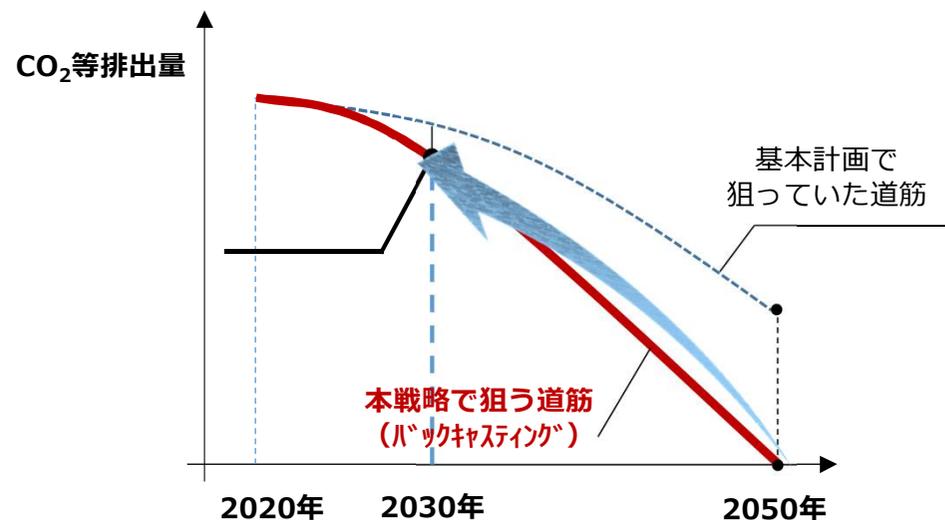
市民・事業者などあらゆる主体の参加と協働により気候変動の緩和と適応に取り組む

### 第Ⅱの取組の柱

川崎市自らが率先して行動を示す

### 第Ⅲの取組の柱

環境技術・環境産業の集積等の強みを最大限に活かし川崎発の**グリーンイノベーション**を推進する



期待

# 海外連携都市との具体的な協力内容と現地ニーズについて

## ➤経済労働局が所管する都市間連携事業

- ヤンゴン市における持続可能な都市形成に向けた脱炭素化推進事業
- 川崎市・ジャカルタ特別州による脱炭素社会の実現を目指したグリーンイノベーション推進事業
- リアウ州地域におけるパーム油産業を軸とした環境調和型経済社会及び2050年ゼロカーボンシティ形成支援事業

## ➤海外連携都市との協定

- ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市（2016年）
  - インドネシア共和国ジャカルタ特別州（2019年）
- ➡ 低炭素に係る協力同意

## ➤海外連携都市からの現地開発ニーズ・環境改善ニーズ

- 市民による3R推進や分別回収といった廃棄物管理
- 地方自治体としての再生可能エネルギー運用
- 大気汚染や水環境改善
- 水素燃料やEVバスの導入

# 川崎市で構築している企業連携の仕組み(1)

## 川崎国際環境技術展 (1)

### 目的

- 環境施策の情報発信
- 市内環境産業の振興  
(販路開拓・国際展開)

### 直近の実績

#### 第12回川崎国際環境技術展

出展企業数 128団体  
来場者数 16,900人  
ビジネスマッチング数 562件

新型コロナウイルス対応  
(新しい生活様式への配慮)

## 第13回川崎国際環境技術展 (オンライン開催)



かわさきエコテック

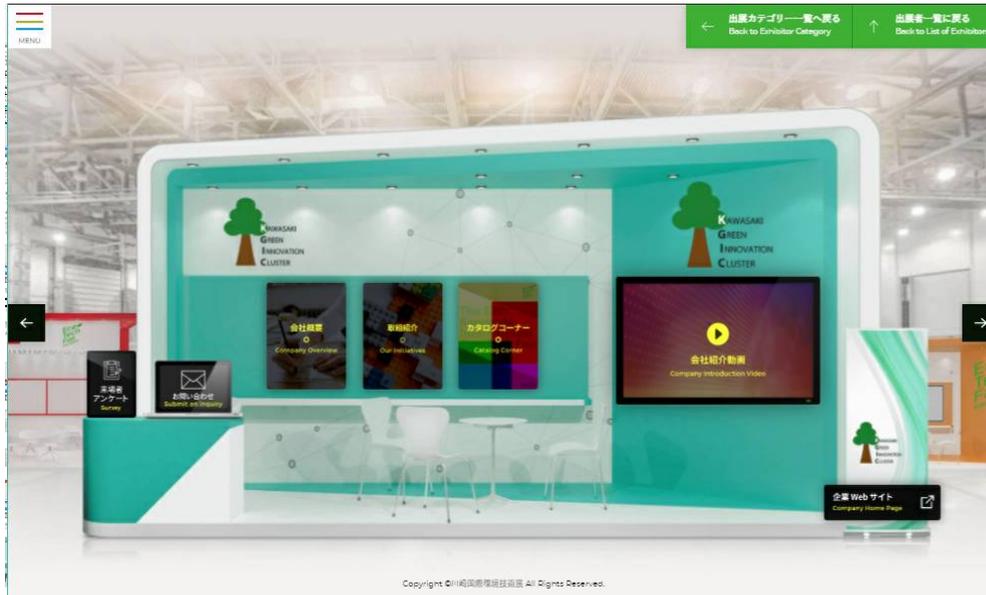
**2021.1.21-2.5開催**

<b>総出展数</b>	<b>136団体</b>
初出展	66団体
市内中小企業	43団体
<b>市外企業</b>	<b>62団体</b>

# 川崎市で構築している企業連携の仕組み(1)

## 川崎国際環境技術展 (2)

出展ブース



- 会社概要
- 会社紹介動画
- 製品紹介
- カタログコーナー
- ホームページリンク
- お問い合わせフォーム

セミナー



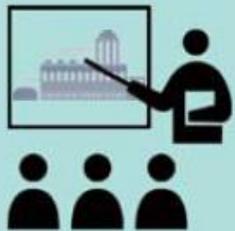
- 高村 ゆかり氏  
東京大学  
未来ビジョン研究センター教授
- さかなクン氏  
東京海洋大学  
名誉博士・客員准教授
- 寺島 実郎氏  
一般財団法人日本総合研究所  
会長

# 川崎市で構築している企業連携の仕組み(2)

## かわさきグリーンイノベーションクラスター (GIC)

産学官民の連携によって環境改善に取り組み、「産業振興」と「国際貢献」等を推進して新たな社会の形成を目指すネットワーク

### 研究開発・実証の支援



川崎市をフィールドとして活用する研究開発・実証の支援

### ビジネス展開の支援



都市間連携等によるクラスター会員企業を軸としたビジネス展開の支援

### ビジネス機会の創出



かわBizネット、水素ネットワーク等他のネットワークとの連携

### 国内外への展開支援

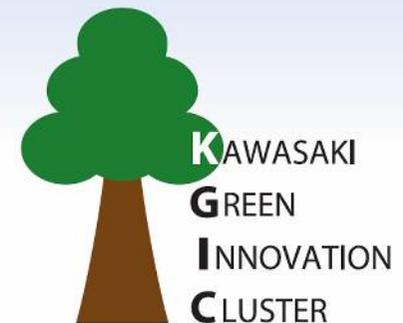


環境技術・製品・サービスと行政知見・ノウハウのパッケージ化

クラスター

**117社団体が  
会員・協力団体  
として参加**

市内企業	45団体
市外企業	72団体



# 川崎市で構築している企業連携の仕組み(2)

## 令和2年度 国内外の案件事例と参加GIC会員等

### 【環境省 脱炭素社会実現のための都市間連携事業】

川崎市・ジャカルタ特別州による脱炭素社会の実現を目指したグリーンイノベーション推進事業	日本工営株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）、三浦工業株式会社、進和テック株式会社
ヤンゴン市における持続可能な都市形成に向けた脱炭素化推進事業	日本工営株式会社、JFEエンジニアリング株式会社、富士古河E&C株式会社
リアウ州地域におけるパーム油産業を軸とした環境調和型経済社会及び2050年ゼロカーボンシティ形成支援事業	日本工営株式会社、ダイセル・エボニック株式会社、PT. Gikoko Kogyo Indonesia、アウラグリーンエナジー、PT. Gietch Prima Energindo

### 【経済産業省 地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業費補助金】

株式会社イスズ及び株式会社シーエスデーによる川崎市における都市型レジリエンス地域マイクログリッド構築に向けたマスタープラン作成事業	株式会社イスズ、株式会社シーエスデー
---	--------------------

### 【環境省 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金】

サーキュラーエコノミー都市実現に向けた低炭素型マテリアルリサイクルモデル構築調査事業	双日株式会社、レコテック株式会社
脱炭素化に向けた「川崎スマートヒートサプライプロジェクト」FS調査事業	一般社団法人資源循環ネットワーク

# 川崎市で構築している企業連携の仕組み(2)

## かわさきGIC会員交流会

### 令和2年度 かわさきGIC会員交流会（令和2年11月10日開催） 参加企業・団体一覧

株式会社シーエスデー	総合警備保障株式会社
株式会社建設技研インターナショナル	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	テビア環境インターナショナル株式会社
MTアクアポリマー株式会社	三浦工業株式会社
MNJ株式会社	株式会社イースクエア
日本ベーシック株式会社	環境エネルギー技術研究所株式会社
日本ミクニヤ株式会社	日本工営株式会社
レコテック株式会社	日本スレッド株式会社
日立造船株式会社	J&T環境株式会社
双日株式会社	一般社団法人資源環境ネットワーク

<多様なコラボレーションの創出>

会員企業の交流

販路（調達先）の開拓

技術パートナーの獲得

企業コンソーシアムの形成 など



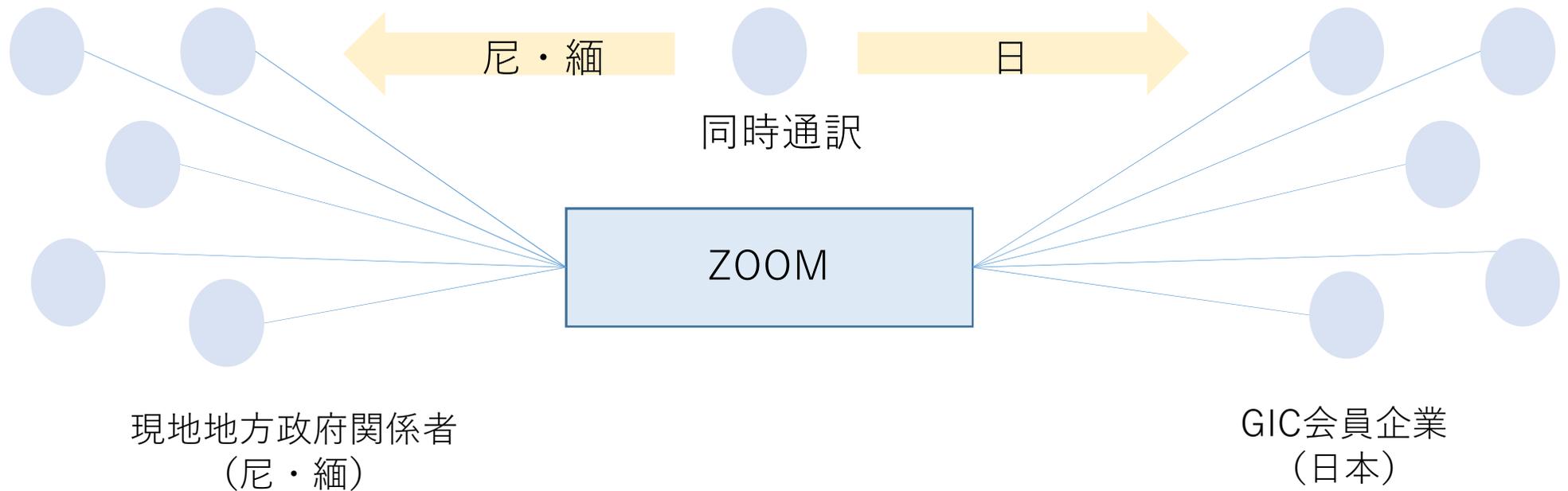
第1部 会員企業による自社PR



第2部 フリー交流会

# 川崎市で構築している企業連携の仕組み(2)

## GIC×環境技術展×都市間連携事業



都市名	環境技術ニーズ
ジャカルタ特別州 (インドネシア)	水質浄化技術 (河川等)、再生可能エネルギー技術、省エネ技術
プカンバル市 (インドネシア)	バイオマスエネルギー関連技術、パーム油関連技術、水質浄化技術 (河川、上下水道等)
ヤンゴン市 (ミャンマー)	廃棄物関連技術、再生可能エネルギー技術、大気汚染管理

海外都市の持つ環境技術ニーズに対応できるGIC会員企業が自社技術をPR

## 第13回川崎国際環境技術展

URL : <https://www.kawasaki-eco-tech.jp/>

## かわさきグリーンイノベーションクラスター（GIC）

URL : <https://www.kawasaki-gi.jp/>

お待ちしております ❤️



川崎市

ご清聴  
ありがとうございました